

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

AT-E-360/360F

部品交換マニュアル



この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

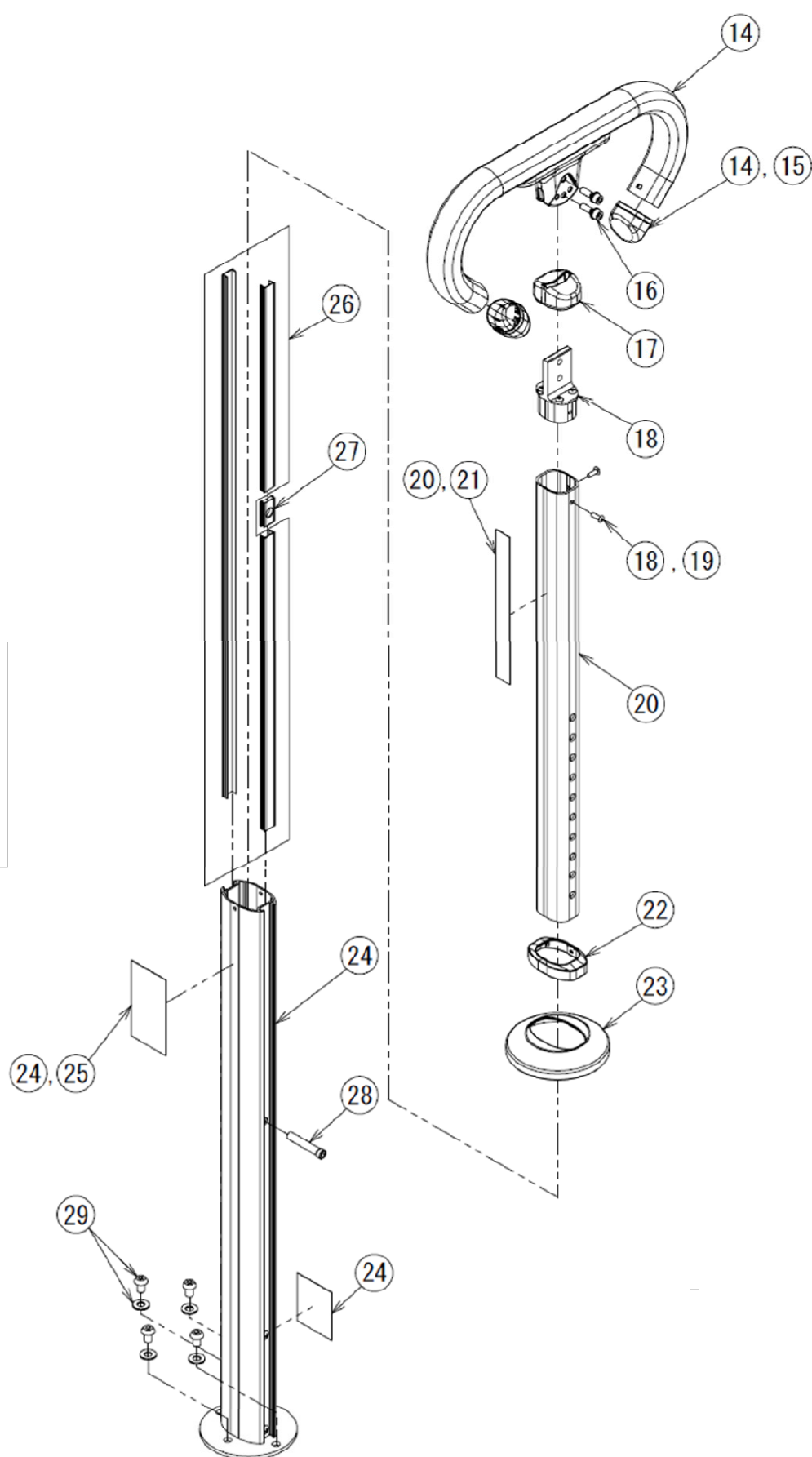
六角レンチ：4mm、5mm
プラス/マイナスドライバー
電動ドリルドライバー

もくじ

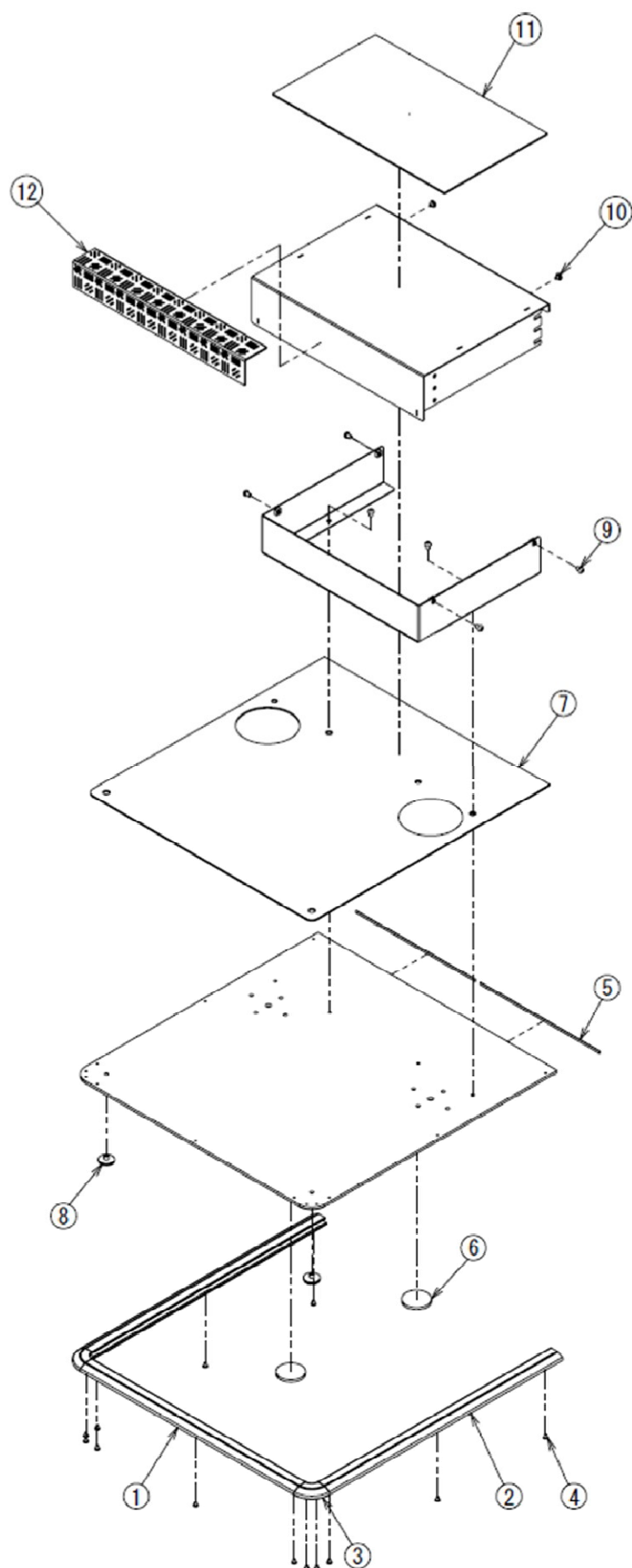
部品リスト	1～5
1. 各部の交換方法	6～14
1) C型手すりの交換方法	6
2) 手すり受け軸の交換方法	7～8
3) 各種樹脂パーツや側面パネルの交換方法	9～10
4) ベースプレート保護マットの交換方法	11～12
5) 踏み台保護マットの交換方法	13～14
6) 高さ目盛りシールの交換方法	15
2. 塗装の補修について	16
3. 交換後の点検	17～18
1) 手すりガタつきの点検	17
2) 支柱ガタつきの点検	17
3) 踏み台ガタつきの点検	17
4) 手すり角度変更の点検	17
5) 高さ調節の点検	18
4. シールの貼付位置	19
注意事項	20
1) 保管について	20
2) お手入れについて	20
3) 廃棄について	20



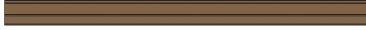
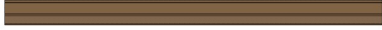
部品リスト



部品リスト



部品リスト

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
①	AT-E-360端面保護カバーL510		592750	2,500
②	AT-E-360端面保護カバーL556(2本)	 × 2本	592751	4,200
③	AT-E-360端面保護カバーコーナー(2個)	 × 2個	592752	1,700
④	AT-E-360端面保護カバーボルト(13本)	 × 13本	592753	1,700
⑤	AT-E-360ベース後方緩衝材(1set)	 × 2枚	592754	1,600
⑥	AT-E-360ベース底部スペーサー(2個)	 × 2個	592755	3,100
⑦	AT-E-360ベースプレート保護マット	 × 1枚  × 2枚	592756	10,500
⑧	AT-CR座付きアジャスター(4個)	 × 4個	592592	3,800
⑨	AT-E-360踏み台固定/調節ボルト(6)	 × 6本	592757	1,600
⑩	AT-E-360踏み台緩衝材(2個)	 × 2個	592758	1,350

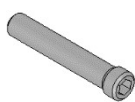
※製品の仕様および価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

部品リスト

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
⑪	AT-E-360踏み台保護マット天面板用		592759	6,600
⑫	AT-E-360踏み台保護マット段鼻用		592760	5,500
⑬	AT-E-360踏み台本体補修スプレー		592761	7,200
⑭	AT-E-360 C型手すり		592762	13,800
⑮	AT-E-360手すりエンドキャップ(2個)	 × 2個	592763	1,900
⑯	AT-E-360角度固定キャップボルト(2本)	 × 2本	592764	1,800
⑰	AT-E-360手すり受け軸カバー		592765	1,600
⑱	AT-E-360手すり受け軸	 トラス小ねじ M4x12mm × 2本	592766	3,100
⑲	AT-CRブラケット固定ボルトM4(2本)	トラス小ねじM4x12mm  × 2本	592669	1,350
⑳	AT-E-360スライド支柱L555	 高さ目盛りシール付き	592767	5,500

※製品の仕様および価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

部品リスト

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
②①	AT-E-360高さ目盛りシール(5枚)	 × 5枚	592768	3,500
②②	AT-CR支柱キャップ(2個)	 × 2個	592667	2,200
②③	AT-CR支柱プレートカバー(2個)	 × 2個	592668	2,500
②④	AT-E-360外支柱	 警告シール/品質表示シール付き	592769	9,900
②⑤	AT-E-360警告シール(5枚)	 × 5枚	592770	3,700
②⑥	AT-E-360支柱側面パネル(1セット)	 × 各1本	592771	2,200
②⑦	AT-CR位置決め金具(2個)	 × 2個	592665	2,200
②⑧	AT-CR高さ調節ボルト(2本)	 × 2本	592666	1,800
②⑨	AT-E-360支柱固定ボタンボルト(4個)	 × 4個  × 4枚	592772	2,000
③⑩				

※製品の仕様および価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

1) C型手すりの交換方法

交換部品



C型手すり

必要工具

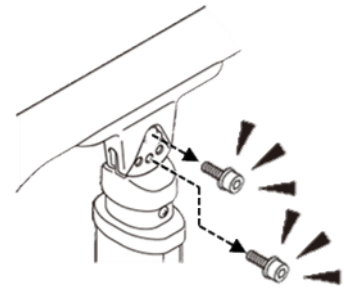
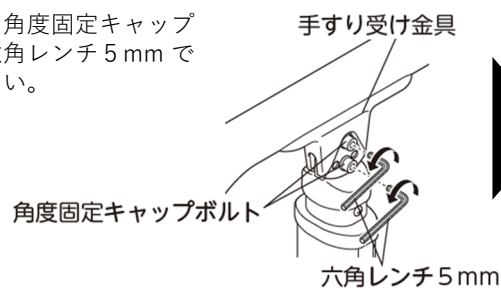
六角レンチ
5mm



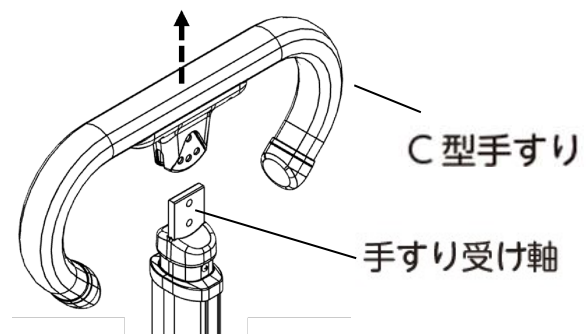
※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1. 支柱からC型手すりを取り外します

手すり受け金具にある角度固定キャップ
ボルト（2ヶ所）を六角レンチ5mmで
ゆるめ、外してください。



ボルトを外したC型手すりをそのまま上に持
ち上げて、手すり受け軸から引き抜いてく
ださい。



2. 逆の手順でC型手すりを取りつけてください。

※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

2) 手すり受け軸の交換方法

交換部品



手すり受け軸

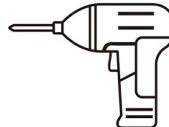
トラス小ねじ
M4x12mm
× 2本

必要工具

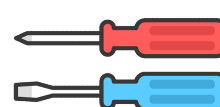
六角レンチ
5mm



電動ドリル
ドライバー



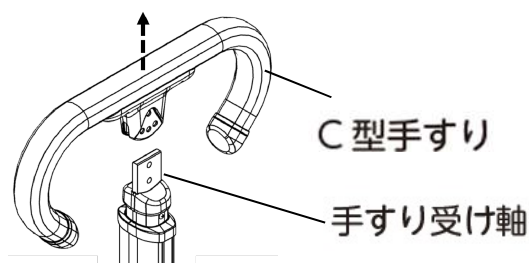
プラス/マイナス
ドライバー



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

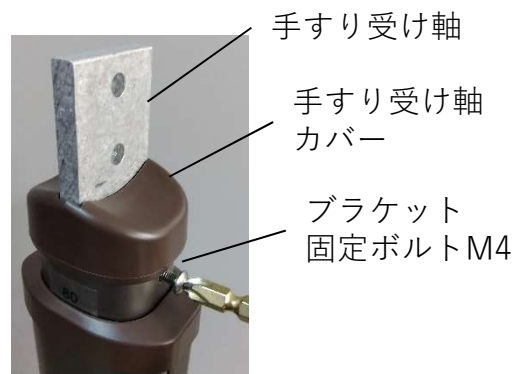
1. 支柱からC型手すりを取り外します

1) C型手すりの交換方法 の手順に沿って
取り外してください。



2. ブラケット固定ボルトを外します

スライド支柱の側面2ヶ所にあるブラケット
固定ボルトを電動ドリルドライバーもしくは
プラスドライバーで取り外し、手すり受
け軸を外します。



3. 手すり受け軸カバーを外します

外した手すり受け軸から手すり受け軸カバー
は外すため、手すり受け軸カバーの端を手や
マイナスドライバーで広げながら外します。

手すり受け軸
カバー(茶色)



手すり受け軸

※裏側のリブが金具に引っ掛かっていますので、壊さない
ように注意してください。
もし、うまく外せない場合、別途、⑰手すり受け軸カバー
の部品購入をお勧めします。

※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

2) 手すり受け軸の交換方法

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

4. 手すり受け軸をスライド支柱に取り付けます

新しい手すり受け軸に手すり受け軸カバーをはめ、スライド支柱の側面穴位置に合うように差し込んでください。



次に新しい手すり受け軸に付属しているブラケット固定ボルトM4を使用して、電動ドリルドライバーで固定してください。



ブラケット
固定ボルト M4

※必ず、新品のブラケット固定ボルトM4を使用してください。
本ボルトは緩み止め剤(緑色)がついています。再利用すると、ボルトが緩みやすくなりますので、必ず新品のブラケット固定ボルトM4を使用してください。



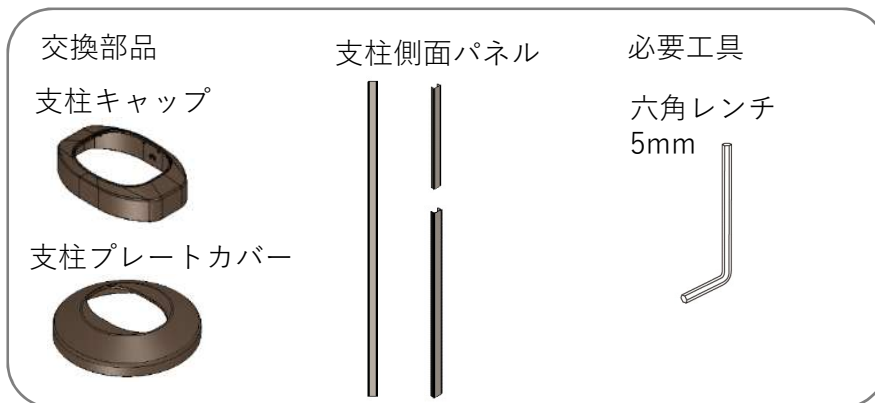
新品のブラケット固定ボルトM4は、根元まで全周に緩み止め剤(緑色)が付着しています。

5. 逆の手順でC型手すりを取りつけてください。

※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

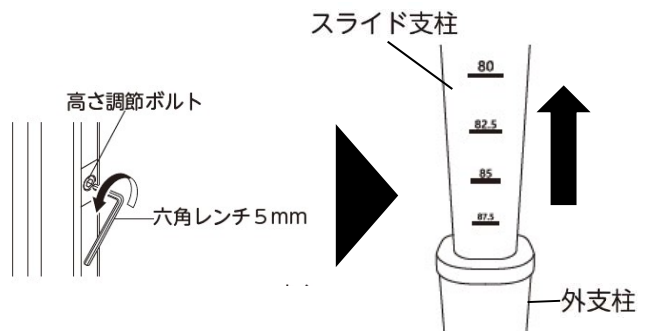
3) 各種樹脂パーツや側面パネルの交換方法



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

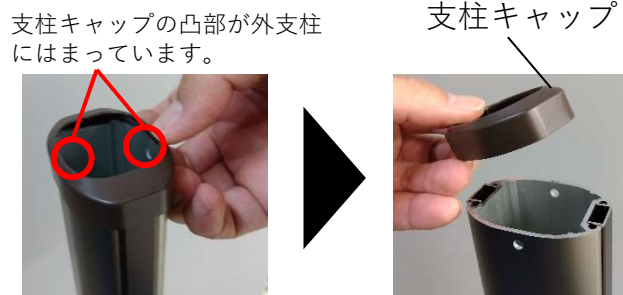
1. スライド支柱をはずします

高さ調節固定ボルトを六角レンチ(5mm)ではずし、スライド支柱を上引き上げて、抜いてください。



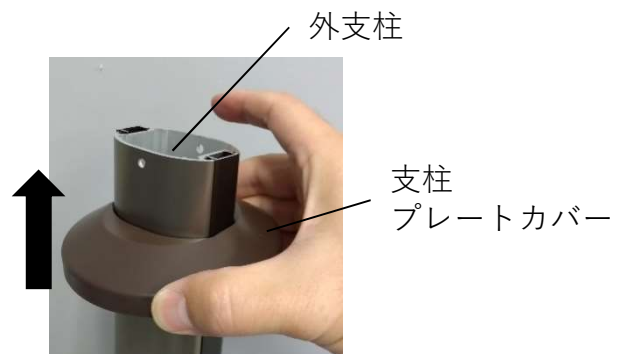
2. 支柱キャップをはずします

外支柱上部にある支柱キャップの端部を手でひらきながら、外支柱にはまっている凸部をはずします。



3. 支柱プレートカバーをはずします

外支柱下部にある支柱プレートカバーを上を持ち上げて外支柱からはずします。



※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

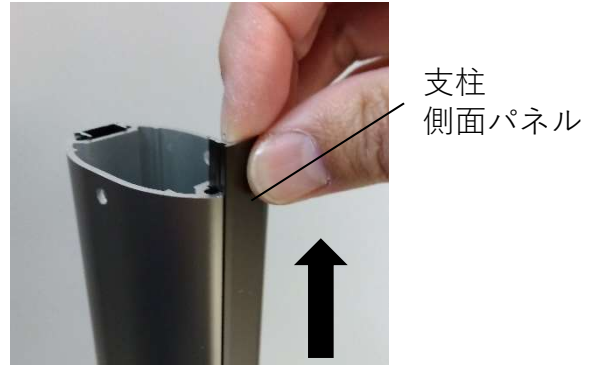
1. 各部の交換方法

3) 各種樹脂パーツや側面パネルの交換方法

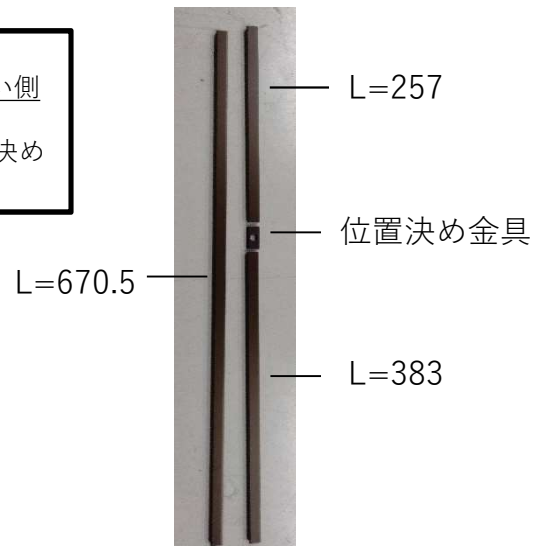
※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

4. 支柱側面パネルをはずします

支柱キャップをはずした外支柱の両側面にある支柱側面パネルを上にはき上げ、はずしてください。



※右の画像が支柱側面パネルの配置です。
最も長いL=670.5は、外支柱の側面に穴が空いていない側になります。
高さ調節ボルトが入る側面には、下からL=383、位置決め金具、L=257の順番になります。



5. 逆の手順で各部品を取りつけてください。

※支柱側面パネルを外支柱に差し込むとき、側面のC形状の部分に沿わせながら挿入してください。



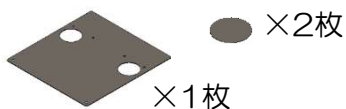
※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

4) ベースプレート保護マットの交換方法

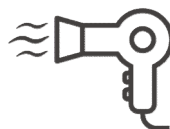
交換部品

ベースプレート保護マット



必要工具

(必要に応じて)
ドライヤー



(必要に応じて)

接着剤はがしスプレー

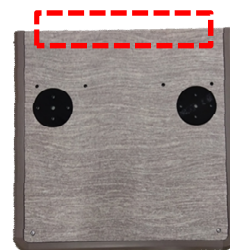


※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1. ベースプレートから保護マットをはがします。

後方部のスキマ(破線位置)から手を入れて、
保護マットを引っ張りはずします。

端部付近の両面テープが無い箇所



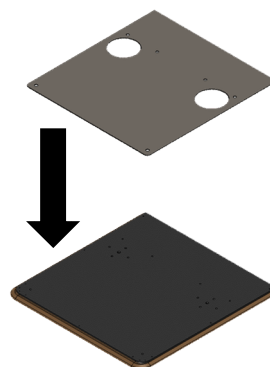
※両面テープが強粘着タイプなので、必要に応じて、ドライヤー等で温めながら剥がすあるいは、はがしスプレーなどを用いて行ってください。

もし、接着剤はがしスプレーなどを使用した場合は、表面を必ずアルコール等で油分を取り除いてください。
接着不足の原因になります。

2. ベースプレート保護マットを貼り付けます

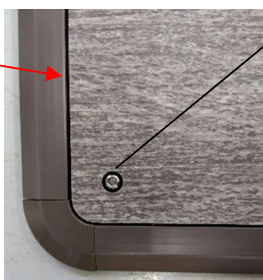
新しいベースプレート保護マット裏面に
ある両面テープの剥離紙をはがして、ベース
プレートに載せます。

剥離紙



※ベースプレート保護マットを載せる位置は、座付きアジャスターの穴位置中心に合わせると作業しやすいです。
ベースプレート外周の端面保護カバーとベースプレート保護マットには約1mm程度のスキマがありますので、ご確認ください。

スキマ約1mm



座付きアジャスター

保護マットを置いて、
各穴の中心に合わせる



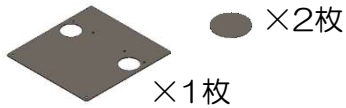
※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

4) ベースプレート保護マットの交換方法

交換部品

ベースプレート保護マット



必要工具

(必要に応じて)
ドライヤー



(必要に応じて)
接着剤はがしスプレー



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

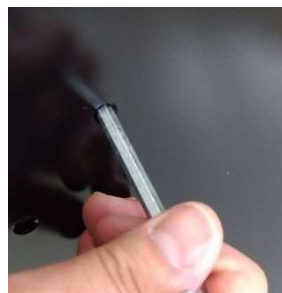
※ベースプレート保護マット丸をはがす場合

表面からでははがしにくいので、ベースプレート裏面から六角レンチなどで押し
てください。そうすると表面の保護マットが浮き上がり、はがしやすくなります。



ベースプレート保護マット丸

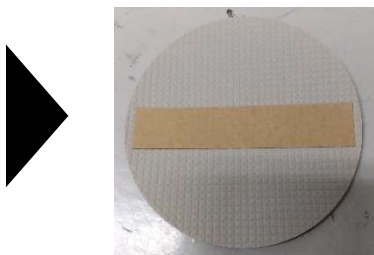
ベースプレート裏面から押す



浮き上がった保護マット丸を
はがす



保護マット丸の裏面にあ
る剥離紙をはがす



保護マット丸を貼り付ける



※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

5) 踏み台保護マットの交換方法

交換部品

踏み台保護マット
段鼻用

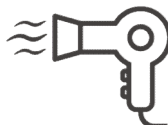


踏み台保護マット
天面板用



必要工具

(必要に応じて)
ドライヤー



(必要に応じて)
接着剤はがしスプレー



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

※段鼻用と天面板用は同時にはがしてしまうと、位置合わせしにくいので、
片方ずつ順に交換作業をおすすめします。

1. 踏み台から保護マット段鼻用をはがします。

保護マット端部から手を入れて、保護マッ
トを引っ張りはずします。



※両面テープが強粘着タイプなので、必要に応じて、ドライヤー等で温めながら剥がすあるいは、
はがしスプレーなどを用いて行ってください。
もし、接着剤はがしスプレーなどを使用した場合は、表面を必ずアルコール等で油分を取り除い
てください。
接着不足の原因になります。

2. 踏み台に保護マット段鼻用を貼り付けます

スリット部分を山折りする

新しい踏み台保護マット段鼻用の中心にある
スリットを山折りしてください。



裏面の剥離紙をはがし、山折りした位置を目
安に踏み台段鼻部分に貼りつけます。



※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

5) 踏み台保護マットの交換方法

※段鼻用の接着が弱いとすぐにはがれてしまうため、浮きがないか？しっかりと押し付け、側面からもしっかりと接着しているか確認してください。
保護マット段鼻用の上に5kg程度の重しや平板を載せて置いておくなどご検討ください。



保護マット段鼻用が浮いていないか？
を確認すること



保護マット段鼻用と天面板用のスキマ
が無いように貼り付けること

3. 踏み台から保護マット天面板用をはがします。

保護マット天面板用の端部からめくってはが
します



4. 踏み台に保護マット天面板用を貼り付けます

保護マット天面板用の裏面の剥離紙をはがし、
段鼻用の端部にあてがい、貼り付けます。

剥離紙をはがす



段鼻用にあてがい、
スキマが無いように貼る



保護マット段鼻用

保護マット天面板用

※踏み台後方部分は、保護マット下側
の踏み台本体(黒色)部分が見えますが、
それが正しい形状になります。



踏み台本体(黒色)

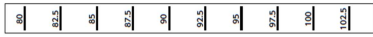
保護マット天面板用

※頻度が多いと想定する箇所や
手順が難しい箇所のみ記載します

1. 各部の交換方法

6) 高さ目盛りシールの交換方法

交換部品



高さ目盛りシール

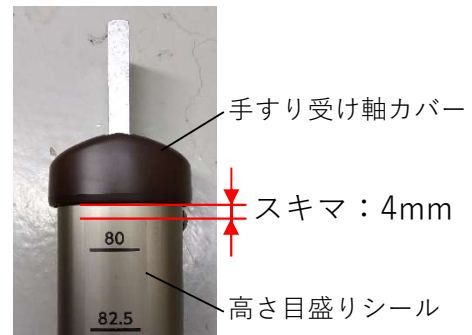
1. 高さ目盛りシールをはがします。

高さ目盛りシール端部からめくってはがしてください



2. 高さ目盛りシールを貼り付けます

高さ目盛りシール裏面の剥離紙をはがし、手すり受け軸カバーから下に4mmに位置から真すぐ貼り付けてください



気泡が入らないようにしっかりと指で押し付けながら作業してください。



最後に外支柱に差し込み、80cmの高さで固定した際に、数字と目盛り線が見えているか確認してください。



2. 塗装の補修について

製品の塗装に傷やはがれが見られる場合には、補修箇所に応じて市販塗料や補修部品を購入して補修してください。

補修の方法はメンテナンスガイドをご参照ください。

手すりおよび支柱部分に塗装はできません。
お手数ですが、補修部品をご購入していただき、
交換対応をお願いいたします。



塗装できません

ベースプレート部分の本体(黒色)は、補修塗料をご準備していません。
市販品で流通している「つや消し黒色」が近似色になります。

表面の保護マットは、塗装できません。
お手数ですが、補修部品をご購入していただき、交換対応をお願いいたします。

踏み台本体(黒色)の補修塗料
は、以下をご利用ください。

⑬AT-E-360踏み台本体補修スプレー



踏み台表面の保護マットは、塗装できません。
お手数ですが、補修部品をご購入していただき、
交換対応をお願いいたします。

3. 交換後の点検

1) 手すりガタつきの点検 2) 支柱ガタつきの点検 3) 踏み台ガタつきの点検

前後・左右に軽くゆらしてガタつきやズレがないことを確認してください。

取扱説明書15ページより

ご利用の前に手すりや踏み台を軽くゆすり、各部にガタつきがないか確認してから使用してください。

①手すりがガタつく場合、

P.13「手すりの高さ調節のしかた」およびP.14「手すりの角度調節のしかた」を確認し、各ボルトを再度締め付けてください。

②踏み台がガタつく場合、

P.11「3. 踏み台を取り付けます」を確認し、各ボルトを再度締め付けてください。



それでも改善しない場合は使用を中止して廃棄してください。

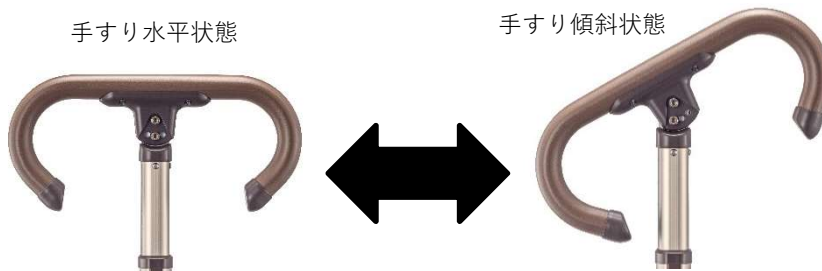
4) 手すり角度変更の点検

手すりの角度が正常に行えることを確認してください。

取扱説明書14ページに記載している手順を元に、確認してください。

手すり水平状態

手すり傾斜状態

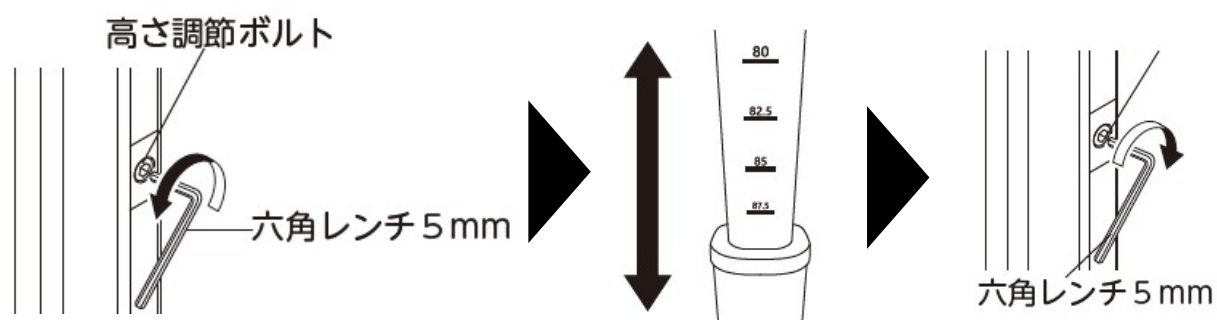


ガタつきやズレがある場合には、再度、角度固定ボルトを締めなおしてください。
それでも改善しない場合は、原因と想定される部品を交換してください。
対象交換品：「C型手すり」「角度固定キャップボルト」「手すり受け軸」

3. 交換後の点検

5) 高さ調節の点検

高さ調節が正常に行えることを確認してください。
取扱説明書13ページに記載している手順を元に、確認してください。



ガタつきやズレがある場合には、再度、高さ調節ボルトを締めなおしてください。
それでも改善しない場合は、原因と想定される部品を交換してください。

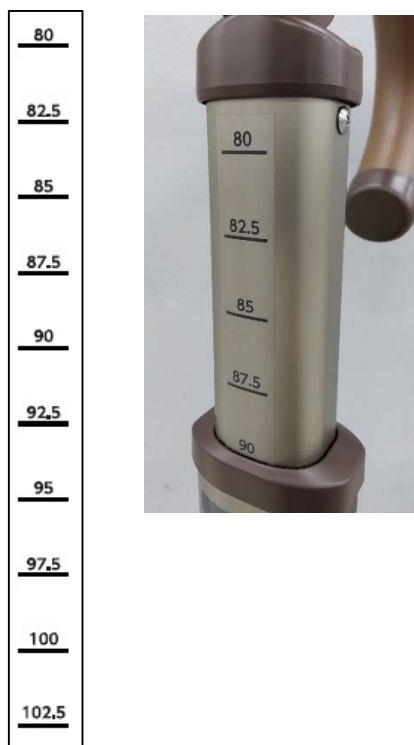
対象交換品：

「スライド支柱」「外支柱」「高さ調節ボルト」「位置決め金具」
「支柱キャップ」

4. シールの貼付位置

1. 高さ目盛りシールがスライド支柱の正面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。
2. 警告シールが外支柱の上部正面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。
3. 品質表示シールが外支柱の下部背面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。

1. 高さ目盛りシール



2. 警告シール



3. 品質表示シール



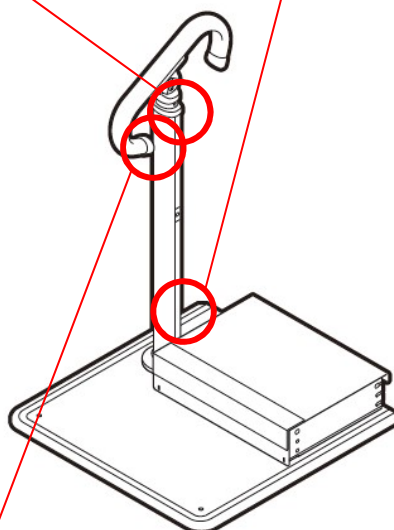
870135:AT-E-360/870136:AT-E-360F
 各手すり：半硬質塩化ビニル樹脂
 アルミニウム
 支柱・手すり受け金具・手すり受け輪
 ：アルミニウム
 ベースプレート・踏み台：スチール
 端面保護カバー・保護マット
 ：塩化ビニル樹脂

取扱い上の注意
 ・火のそばに置かないこと。
 ・キズがつくのでたわしやみがき粉で
 みがかないこと。

最大使用者体重:100kg

アロン化成株式会社
 フリーダイヤル 0120-86-7735
 (受付時間) 受付日以外の月～金 10:00～16:00
 (TEL:03-13,000-6773)

日本製



各種シールにはがれや劣化がある場合は、交換部品の各種シールを貼付してください。

②①高さ目盛りシール (5枚)

②⑤警告シール (5枚)

※品質表示シールの単品がありませんので、

②④外支柱(警告、品質表示シール付き)含めた交換になります。



注意事項

1) 保管について

1. 屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと。
2. 湿気の多い場所で保管しないこと。
3. 火気に近づけないこと、また60度を超えるような高温環境下に保管しないこと。
4. 製品に重量物を載せたり、手すりに物をかぶせたりしないこと。
5. 取扱説明書は本体と一緒に保管すること。

2) お手入れについて

1. 次にあげるものではお手入れしないこと。
 - ・シンナー ・クレゾール ・磨き粉 ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・酸、アルカリ性洗剤 ・その他製品を傷つけるもの
2. オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。

3) 廃棄について

廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 10：00～16：00（12：00～13：00はのぞく）

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

 TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

24.10 919291-2

ARONKASEI CO.,LTD.